

平成 22 年度

学校関係者評価書

大阪市立東生野中学校
学校関係者評価委員会

1. 全体のまとめ

- 様々な取り組み内容を考えると、B の評価が妥当でないものもある。もう少し A をつけてもいい。
- 読書は今後進めていってほしい。
- 夜間との交流は生徒さんの学ぶ姿勢、がんばっている姿が見えるので、今後も充実させていってほしい。
- 授業については、教職員はがんばっており、生徒も落ちついて受けていた。
- 校舎は清掃が行き届いていて、きれいであった。
- 高校へは入学しやすくなっているが、学力の低下につながるおそれがあるので、学力をつける取り組みを強化してほしい。

2. 項目別評価について

(1) 教育課程	(2) 生徒指導
○授業はおちついてできていた。 ○少人数指導・習熟度別指導等を更に保護者に啓発すべきである。 ○各教科の評価はもっと高くてもいいのではないかと思う。	○問題行動生、不登校生について、関係諸機関と連携し、すばやく対応ができています。 ○オープンスクールで授業を参観し生徒は落ち着いていた。 ○保護者の問題もあるが、遅刻を減らす取り組みをしてほしい。
(3) 学校環境	(4) その他の重点目標
○校内美化は思っていたより行き届いていた。 ○施設改善は計画的に行われている。 ○安全管理・危機管理について努力が求められる。	○夜間との交流が東生野中学校の特色であるので、さらに充実させてほしい。 ○生徒の意識が変わるような、さらなる職場体験の充実を希望する。
(5) 開かれた学校づくり	(6) 学校運営の体制
○今年度から実施したオープンスクールにより、普段の授業の様子を参観できてよかった。 ○学校だよりを地域の回覧版を使って見ることで、より、学校の様子をより知ることができた。	○組織的の学校経営がなされている。 ○評価をもっと上げてほしいのではないかと。自己点検をしっかりとやってほしい。
(7) 関係諸機関との連携・PTA 活動・職員研修	(8) 生徒・保護者の満足度
PTA の協力体制、地域との連携もほぼできているが、さらなる連携を進めてほしい。	保護者アンケートの回収率は 75.1%。好意的な評価は、20 項目中 18 項目、生徒アンケートの好意的な評価は、20 項目中 13 項目で満足度は概ね良好である。さらに保護者への周知の方法を工夫していく必要がある。

3. 今後の改善方策について

- 読書タイムや図書室等を利用する時間を工夫し、読書量を増やしてほしい。
- 開かれた学校を目指し、保護者、地域の方々に学校の様子を知らせるための方策をさらに進めてほしい。
- 出前授業等、さらに小中連携を進めてほしい。
- より分かりやすい学校評価になるよう工夫してほしい。